



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

令和8年6月25日
報道発表資料
川崎市(健康福祉局)

麻しん(はしか)予防対策について強化・拡充の取組を開始します!!

川崎市では、令和8年5月21日付けで報道発表を行った、麻しんの流行を踏まえた予防対策の強化・拡充について、次のとおり取組を開始しますので、お知らせします。

1 予防対策の強化・拡充について

【取組1】子どもに関する対応の強化



【対象者】 2歳から中学校3年生までの子どものうち、麻しん含有ワクチンの接種が「0回」又は「1回」の川崎市民(ただし、就学前1年間より前の場合は接種が「0回」の川崎市民)

【助成内容】 麻しん含有ワクチンの接種費用(全額)

【申請方法】 オンライン又は郵送により「予診票」の発行を申請

【実施場所】 予診票の発行後、市内の協力医療機関で事前予約の上で実施

【実施期間】 令和8年7月1日(水)から令和9年3月31日(水)まで

【個別案内】 対象者には「7月上旬」・「8月上旬」・「9月上旬」の3段階に分けて、個別に案内通知を発送

※ 接種を希望する場合、案内通知が届いてから予診票の発行を申請してください。

【その他】 転入者など本市で接種歴を確認できない場合、案内通知の発送を行えないため、接種希望者は、母子健康手帳等により接種歴の確認を行い、【対象者】に該当する場合は、予診票の発行を申請してください。

【取組2】環境整備による0歳児の感染予防



【対象者】 0歳児の同居の父母で、麻しん含有ワクチンの接種が「0回」又は「1回」の川崎市民

【助成内容】 ① 母子健康手帳等により接種歴を「確認できる」場合

麻しん含有ワクチンの接種費用1回分(接種技術料3,200円は自己負担)
又は麻しん抗体検査費用(全額)1回分

② 母子健康手帳等により接種歴を「確認できない」場合

麻しん抗体検査費用(全額)1回分

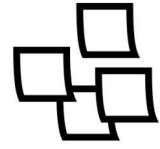
※ 麻しん抗体検査については、抗体価が不十分な場合、自己負担により麻しん含有ワクチンの接種を希望する方に助成します(検査のみ希望は対象外)。

【実施場所】 市内の協力医療機関で事前予約の上で実施

【実施期間】 令和8年7月1日(水)から当面の期間

【その他】 母子健康手帳など、0歳児の父母であることを確認できる書類が必要となります(父母についても、接種歴を確認できる書類がある場合は持参)。

【取組3】麻しん予防の啓発強化



【内 容】市内医療5団体(※)との連携により、啓発ポスターの掲示やかかりつけ患者等への呼びかけを実施

※ 市医師会・市病院協会・市歯科医師会・市薬剤師会・市看護協会

【ポスター】添付資料を参照

【実施期間】令和8年6月下旬から順次

2 市内協力医療機関について

上記「取組1」及び「取組2」の協力医療機関は随時更新されるため、詳細は右記の市ホームページで確認してください。



3 その他

麻しんを疑う症状が出た場合は、必ず事前に医療機関に連絡の上、早めに受診してください(受診の際はマスクを着用し、可能な限り公共交通機関等の利用を避けるようお願いします。)

また、渡航予定のある方は、予防接種歴を確認するとともに、未接種の場合、麻しん含有ワクチンの接種を御検討ください。

【問合せ先】

《取組1について》

川崎市健康福祉局保健医療政策部予防接種担当 齋藤(さいとう)

電話:044-200-2440

《取組2及び取組3について》

川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策課 神庭(かにわ)

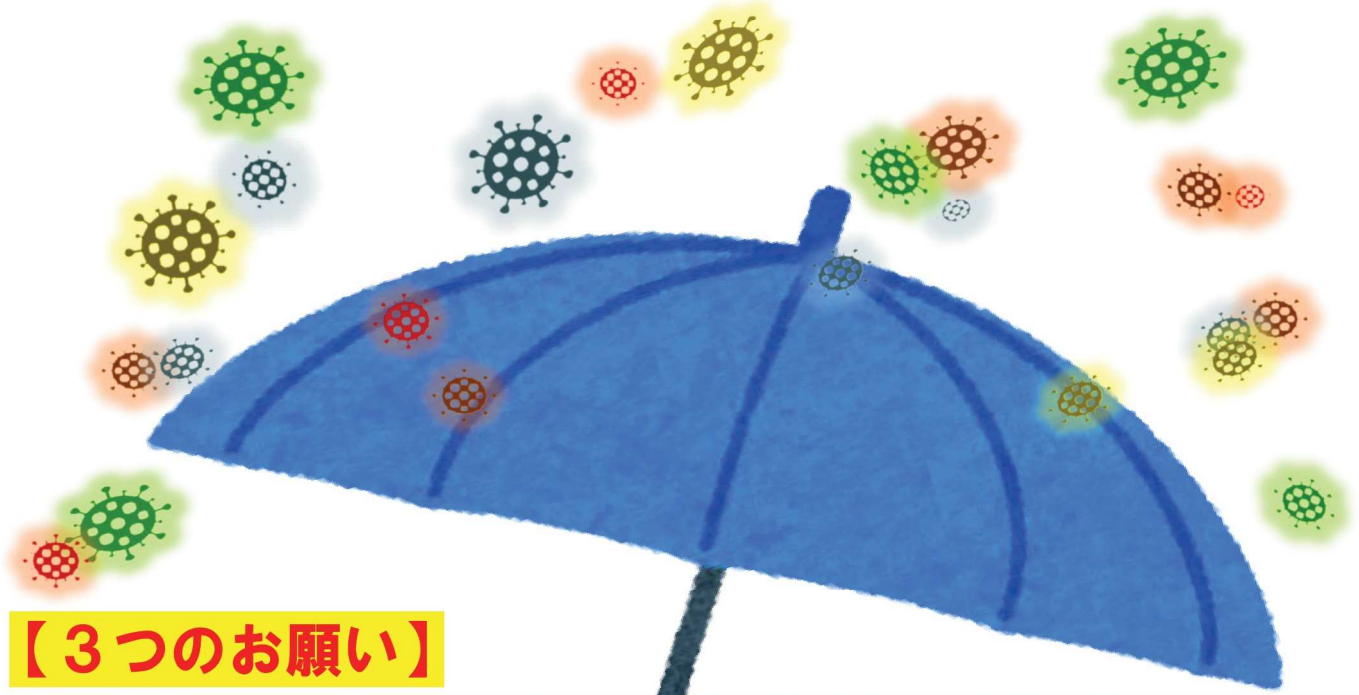
電話:044-200-2343

[麻しん注意報] リスク増加中

感染予防「マスク」「手洗い」「防げません!!

『空気感染』・『飛沫感染』・『接触感染』

感染の約10日後に発熱・咳などの風邪症状、2～3日熱が続き、39度以上の高熱と発疹が出現



【3つのお願い】

- ① 麻しん含有ワクチンの接種歴を確認しましょう！
- ② 麻しんを疑う症状が出た場合は、必ず医療機関に連絡してから受診しましょう！
- ③ 未接種の場合は、任意接種を検討しましょう！

【麻しんの発生動向（各年1/1～12/31）】



～ 予防対策の強化・拡充 ～

麻しん(はしか)が流行しています!!

現在、国内で麻しんの発生が増加しており、今後も流行の拡大が懸念されています。

川崎市市内においては、本年に入ってから既に27件(令和8年5月18日現在)の発生が確認され、海外渡航歴のない感染者も増えています。

麻しんは感染力が非常に強いウイルス感染疾患のため、注意が必要です。

流行状況を踏まえ、本市では、予防対策を強化・拡充するため、次のとおり新たに4つの取組を開始します。

なお、麻しんを疑う症状が出た場合は、必ず事前に医療機関に連絡の上、早めに受診してください(受診の際はマスクを着用し、可能な限り公共交通機関等の利用を避けるようお願いいたします。)

1 麻しん(はしか)について

- (1) 典型的な症状：咳・鼻水・結膜充血、38～39℃以上の発熱、発疹など
- (2) 感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染
- (3) 潜伏期間：7～18日(一般的には10～12日、最長21日)
- (4) 感染可能期間：発症する1日前～解熱した翌日から起算して3日間
- (5) 予防方法：麻しん含有ワクチンの接種

2 現行の取組について

(1) 定期予防接種

麻しん含有ワクチンを2回接種(第1期・第2期)します。

ア 第1期：生後12月から24月に至るまで

イ 第2期：小学校入学の前年度1年間

(2) 未接種の子どもに関する対応(無料の任意予防接種)

未接種の子どもに対して、定期予防接種の終了後1年間は無料で任意接種を受けられるよう、接種費用を助成します。

(3) 麻しんワクチンの緊急接種

麻しん患者との接触から72時間以内の場合、ワクチン接種により発症を予防できる可能性があるため、保健所が必要と判断した人に緊急接種を実施します。

3 予防対策の強化・拡充について

現行の取組に加え、新たに4つの取組を開始します(7月から順次開始予定)。
なお、詳細は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

【取組1】子どもに関する対応の強化



【目的】 **未接種者を減少させるとともに、確実な2回接種を進める**

【内容】 無料任意接種の対象を **中学校3年生まで拡大** します。

※ 対象者あて段階的に案内通知を送付します。

【期間】 **令和9年3月末まで**の時限措置(状況により延長を検討)

【取組2】環境整備による0歳児の感染予防



【目的】 **父母の免疫を高めることで、0歳児の予防環境を整備する**

【内容】 0歳児を持つ同居の父母で、ワクチン接種が1回以下の方に

「接種費用1回分(初診料・技術料を除く)」

又は「抗体検査費用1回分」を助成 します。

【期間】 当面の期間

【取組3】麻しん予防の啓発強化



【目的】 **確実な2回接種に向け、任意接種検討の機会を創出する**

【内容】 **市内医療5団体(※)との連携**により、**啓発ポスターの掲示や
かかりつけ患者等への呼びかけ**を実施します。

※ 市医師会・市病院協会・市歯科医師会・市薬剤師会・市看護協会

【取組4】その他関連する取組

【内容】・「保育所・学校における麻しん対応」に関する流れの整理及び周知
・麻しん含有ワクチンの供給量を踏まえた優先順位の整理

4 その他

海外(特に東南アジア地域)においても麻しんの流行が報告されています。
渡航予定のある方は、予防接種歴を確認するとともに、未接種の場合、麻しん含有ワクチンの接種を御検討ください。

【問合せ先】

川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策課 神庭(かにわ)

電話: 044-200-2343 (内線32905)